

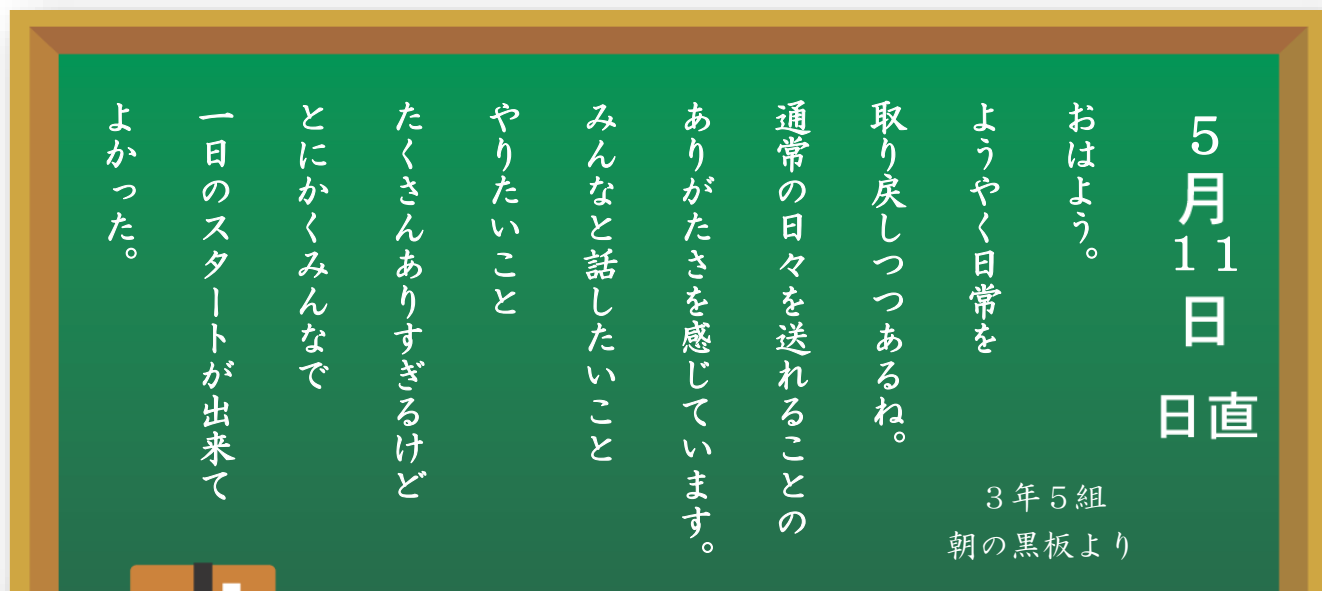
幻（今日）の給食
ごはん 豚丼の具
春雨サラダ
ビーンズカル（小

夢の★ ほぼ日刊 C-a-r-a-t ★

第636号

神町中学校 夢色通信社
令和2年5月11日

臨時休校最後の週となりました。今週は、3年生は月・水・金の3日間、1・2年生は火・木の2日間の登校です。学校再開に向けて、ようやく動き始めました。



今日は、3年生が登校し3時間の授業が行われた。登校してくる生徒たちは、ロクに「学校に来るのを楽しみにしていた。」と話していた。久しぶりの授業は、とても静かにスタートした。わにているのだろうか？（わにる＝恥ずかしいがって尻込みをすることの方言）1組担任の高橋諒先生は「学級での活動をほとんどしていないし、机の距離が離れているので話しづらいの

かもしれない。」と、4組担任の川上陽一先生は、「マスクでお互いの表情が見えないので雰囲気をつかめないのではないか。」と話していた。鈴木大翔くん（2組）は「久しぶりにみんなと話ができて楽しかった。授業びらきを受けて、中学校最後の年となるこの1年、気合を入れて勉強しようと思った。」と、古澤愛生衣さん（4組）は「みんなの爽やかな笑顔を見ることができて良かった。新しい先生の授業もあり、先生たちの個性がわかった。私はこの休みでだらけてしまったので、まずは生活リズムを整えて授業再開に備えたい。」と話してくれた。理科の授業では、先生の答えに生徒がホワイトボードを使って答えるなど、生徒も久々の授業を楽しんでいた。『ほぼ全員の生徒が「学校に来るのが楽しくて仕方ない」。と言いながら登校してくるなんて、今まで見たこともない。この気持ちをいつまで持ち続けられるか。来週になったら、もう忘れてしまうだろう。』と教育評論家のブラック・ムネティ氏は予言している。